

<p>科目名：老年看護学実習 I</p> <p>(Gerontological Nursing Practice I)</p> <p>履修年次/時期：2年次 後期 授業形態：実習</p> <p>担当教員：小浦さい子（実務経験有） 中村仁志（実務経験有） 石川智子（実務経験あり）石井一義（実務経験有） 石井玲子（実務経験有）</p>	<p>必</p>	<p>1 単位 (45 時間)</p>																
<p>学修目的</p>	<p>施設を利用する高齢者とのかかわりを通して、高齢者の特徴、生活状況を理解する。また、有料老人ホーム・老人福祉センターの機能・役割、および施設における看護職の役割を理解する。</p> <p>CP1. 2. 3. 5. 6に関連する。 科目 KNp-227</p>																	
<p>この科目が目的としている DP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p> <p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p> <p>3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">◎</td> </tr> <tr> <td>(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP</p>	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○	(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	◎	(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○																	
(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○																	
(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○																	
(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○																	
(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○																	
(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	◎																	
(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○																	
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○																	
<p>到達目標</p>	<p>①老年期にある看護の対象の特徴を身体的・精神的・社会的側面から理解する。</p> <p>②高齢者とのコミュニケーションの方法を理解する。</p> <p>③高齢者の生活について知り、施設の果たす機能や働く人々の役割を理解する。</p> <p>④看護を学ぶものとしての姿勢や態度を身につける。</p>																	
<p>授業概要</p>	<p>施設を利用する高齢者との関わりを通して、高齢者の特徴、生活状況を理解する。また、老人ホーム・老人福祉センターの機能・役割、および施設における看護職の役割を理解することをねらいとする。</p>																	
<p>授業計画</p>	<p>(実習施設)</p> <p>【有料老人ホーム】 油壺エデンの園、サニーステージ野比海岸、ツクイ・サンシャイン三浦、</p> <p>【老人福祉センター】 秋谷老人福祉センター、鴨居老人福祉センター、 北下浦老人福祉センター、本町老人福祉センター</p> <p>(実習期間・時間)</p> <p>① 実習オリエンテーション 11月中旬 1コマ 2時間</p> <p>② 有料老人ホーム 2日間 12月初旬 8:30~16:00 390分*2=780分≒17時間</p> <p>③ 老人福祉センター 2日間 12月初旬 8:30~16:00 390分*2=780分≒17時間</p> <p>④ 学内実習 1日 8時間</p> <p>まとめ発表会 1コマ 2時間</p>																	

評価方法	老年看護学実習Ⅰの実習評価表の項目を、評価基準に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 評価に対するフィードバックは必要時、面接にて行う。
教科書	系統看護学講座 老年看護学. 医学書院. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論. 医学書院
参考書	随時掲示する。
オフィス- 連絡先	小浦さい子 実習終了後～18:00 第3号館3階研究室 s.koura@kdu.ac.jp 石川智子 実習終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 t.ishikawa@kdu.ac.jp 石井一義 実習終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 k.ishii@kdu.ac.jp 石井玲子 実習終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 r.ishii@kdu.ac.jp 中村仁志 実習終了後～18:00 第3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp 不在時はメールでお願いします。